

## 本校の魅力と今後の教育活動のトピック

### 自然環境

- 学校周辺には、美しい海や生命力溢れる森林が広がり、多様な動植物が生息しています。令和3年に、奄美大島が世界自然遺産に登録されたことで、奄美大島全体で自然環境保護の機運が高まっています。また、近年、世界的な目標になったSDGs（持続可能な開発目標）が掲げる17の目標の中に目標14「海の豊かさを守ろう」15「陸の豊かさを守ろう」があり、いかに自然環境保護や環境教育が重要であるかが分かります。

本校の近辺にクンマ海岸というとても美しい海岸があります。毎年5月頃に子供たちや先生方、地域の方々と一緒に、海岸清掃を行っています。毎年、海岸清掃を通して、陸や国内外からの漂着物がたくさん落ちていることに気付かされます。これらの事実を身をもって体験することで、海の環境を守るために大切なことや自分たちに課せられた役目を改めて考えさせてくれる機会になっています。また、請島には、ウケユリやウケジママルバネクワガタなどの希少植物・昆虫が生息していて、動植物の多様性や生態性を守ることの大切さを考えさせてくれる機会を与えてくれます。

このように、学校周辺には、環境教育の重要性を身をもって体験できる自然環境がそろっているとと言えます。



【ウケユリ】



【ウケジママルバネクワガタ】



【クンマ海岸】

### 地域との連携

本校では、海岸清掃や請ゆり観察会、運動会や学習発表会など、地域の方々と連携しながら教育活動を進めています。活動を共にする中で、地域の方々が子供たち一人一人の頑張りにも声を掛けてくださるので、「地域の方々から支えられている」と実感しながら学校生活を送ることができています。

#### <令和6年度 学校行事における地域との連携を図る活動>



【海岸清掃：5月11日】



【請ゆり観察会：5月21日】



【AED救命救急ハブ講習：8月23日】



【八月踊り練習：9月初旬】



【運動会：9月22日】



【地域ふれ合い：10月12日】



【学習発表会：11月1日】



【持久走大会：12月7日】



【迎春準備：門松作り・餅つき:12月20日】

## 教 育

### ①学力向上について

令和6年度の本校の研究テーマは、「一人一人を大切にしたい個別最適な学びの創造～全ての児童生徒が分かる・できる・伸びる授業を目指して～」です。この研究テーマを基に、具体的な取組として、以下のように考えています。

- ・ **少人数であることの利点**を生かした、一人一人の子供の実態や特性に応じた指導（個別の指導化と学習の個性化の一体化）を充実させます。
- ・ 少人数であることのデメリットとして、直に多くの周りの仲間に自分の考えを伝えたり、他の仲間の考えを聞いて、自分の考えを修正し、よりよい考えにたどり着くという体験が希薄になります。そのデメリットを解消するために、**学校間オンライン授業を通して、協働的な学びを充実させます。**

### ②心の教育について

- ・ 少人数であるため、担任の目が行き届きやすいです。児童・保護者との教育相談など、気軽に実施することができます。スクールカウンセラーや特別支援学校等の関係機関とも連携ができます。（※関係機関の専門家の来校及びオンラインでの教育相談が可能です。）

### ③体力・運動能力について

- ・ 一人一人の子供の実態や特性に応じた体力・運動能力向上を目指した指導を充実させます。体力ナビや到達度カードを基に、児童生徒自身が現状の成果・課題を把握し、主体的に改善策を考え運動できるように導いていきます。

## 本校における今後の教育活動のトピック

### ○令和6年3月 新体育館完成

- ・ 児童生徒の体力・運動能力向上及び災害時の避難場所、地域とのよりよい連携を図る場の創造



### ○令和6年6月 ドローンによる物資輸送開始

- ・ 先端科学技術に触れる機会の提供
- ・ キャリア教育の充実：ドローン操縦士等の職業への興味・関心の醸成



### ○令和6年6月 スターリンク導入

- ・ 学校間オンライン授業による国内・世界の学校との交流機会の創造



